

避難所について

(2013年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名	女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
0	<p>愛知県</p> <p>避難所は市町村が指定するもので、その整備等は市町村が行います。 県は「愛知県緊急市町村地震防災対策事業費補助金」により、市町村が実施する避難所等のバリアフリー化事業等に対して助成を行っております。</p> <p>また、高齢者や障がい者、妊産婦を始めとする、災害時の一連の行動に対してハンディを負う災害時要援護者の方が必要な、車椅子、障がい者用簡易トイレ、スロープ、間仕切板などの整備に対しても助成しており、市町村が実施する災害時に援護が必要な方への対策を推進しております。</p> <p>なお、本年6月に災害対策基本法の一部改正があり、避難所における要配慮者に対応するためのバリアフリー化など、避難所の生活環境の整備に関する措置等が新たに盛り込まれました。また、この改正を受けて、本年8月には内閣府において市町村を対象に「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」が取りまとめられたところです。</p> <p>本県では、平成10年3月に「愛知県避難所運営マニュアル」を作成し、必要に応じて逐次改正してきたところですが、今後、市町村における避難所運営の改善の参考となるよう、今回の法改正の趣旨やこの取組指針を踏まえた見直しを行うことを考えております。</p>
1	<p>名古屋市</p> <p>名古屋市では、東日本大震災、陸前高田市への被災地支援及び平成23年台風15号の教訓を踏まえ、「避難所運営マニュアル」を改正しました。</p> <p>その中におきまして、今回のご要望にもあります、妊産婦や高齢者の避難者への配慮事項につきましても、検討し、反映しております。</p> <p>【妊産婦への配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況・ニーズを把握する。 ・授乳室やおむつ替え場所を確保する。スペースが他に確保できない場合は、間仕切りセットを利用・設置する。 ・子どもが泣いたり、騒いだりしても気兼ねがないように空間的な配慮を行う。 ・妊婦は、安静・休息がとれるよう、横になれる場所の確保に加え、産気に注意する。 ・女性特有のニーズを適切に把握するため、可能なかぎり、受付に女性を配置する。 ・女性用物資の配布については、女性が行うなど、配布方法に留意する。 ・トイレの設置にあたり、男性用と女性用に分ける。 ・優先的に食料や物資を確保する。 <p>【高齢者への配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入口やトイレへの動線を考慮し、優先的にスペースを確保する。 ・福祉避難スペースを確保する。 ・避難所内にスロープを設置し、段差を段ボールを活用するなどして、バリアフリー化に努める。 ・避難所生活を送るうえで必要となる全ての連絡事項について、わかりやすい表現を心掛け、音声による伝達に加え、貼り紙に事項を記載するなど、伝達方法に留意する。 ・トイレの設置にあたり、手すりになるものなどの設置を心掛ける。 ・優先的に食料や物資を確保する。 <p>その他にも、女性や高齢者などを犯罪から守るため、避難所のパトロールや照明の確保など、安全防犯対策に努めています。</p> <p>今後も、様々なご意見、ご要望を参考とさせていただきながら、妊産婦や高齢者の方が安心して避難所生活を送ることができるよう、努めてまいりますので、宜しく願います。</p>

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
2	豊橋市	妊産婦や高齢者など災害時要援護者で、第一指定避難所での避難生活が困難な場合は、福祉避難所へ収容することとなっています。福祉避難所での環境は、入浴施設、洋式トイレ、バリアフリーなどの環境となっており、災害時要援護者の避難所生活の改善に努めています。
3	岡崎市	施設の改修、建て替え時にバリアフリー化を図っている。
4	一宮市	女性や高齢者に配慮するため、避難所内の仕切り資機材や更衣室などにも利用できるテントを備蓄するなど、プライバシーの確保に努めています。
5	瀬戸市	避難所には性別・年齢を問わず、様々な人々が入ります。避難所の運営には女性の参画を推進するとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点に配慮してまいります。
6	半田市	避難所には、着替えや授乳などを行うための1人用簡易テントや障がい者、高齢者に配慮した組立式災害用トイレを備蓄しています。また避難場所に指定している体育館等の改修にあたっては、新たに多目的トイレを設置するなど妊産婦や高齢者の方々への配慮にも努めております。災害時の避難所運営においては、災害弱者への配慮は重要な課題であることから、個室の確保や避難所での生活が困難な方々に対して、速やかに福祉避難所を開設するなど適切に対応してまいります。
7	春日井市	避難所における女性や高齢者への配慮といたしましては、生理用品、粉ミルクや乳幼児及び大人用の紙おむつを備蓄しているほか、一部避難所の出入りにスロープを設けています。また春日井市地域防災計画では、避難所の運営における女性の参画、男女のニーズの違いに配慮するとともに女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置、安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めることとなっています。
8	豊川市	本市においては、3段階の福祉避難所を開設する計画であり、第一段階として一般の避難所に福祉スペースを、第二段階として市内6施設を公的福祉避難所に、第三段階として市内の社会福祉施設等13施設と協定を締結しており、福祉避難所として、段階的に設置する計画としています。妊産婦についても災害時要援護者に該当するため、第一段階の福祉スペースとして配慮することになります。また備蓄食糧等についても、高齢者に配慮し、アルファ化米ではおかゆでも備蓄しており、またすべてのアレルギー対応食としております。備蓄品の見直しについては、3連動地震への対応の中で検討してまいります。女性や高齢者に配慮した避難所運営は、東日本大震災からの教訓であり配慮いたします。
9	津島市	避難所の改善として、間仕切りやパーテーション等の資機材整備に努めてまいります。
10	碧南市	避難所で高齢者等のプライバシーが確保できるように、計画的に間仕切りや仮設トイレを購入しております。
11	刈谷市	公共の福祉施設4か所と民間の福祉施設4か所を福祉避難所として指定しております。また、備蓄品についても離乳食、粉ミルク、車椅子やリクライニングベッド等高齢者や乳児などに配慮したものを配備しております。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	災害時の備蓄物資につきましては、授乳や着替え時に使用する組立式のプライベートルームや生理用品、哺乳瓶、オムツ等を購入しています。高齢者や障害者など災害時要援護者には、簡易ベッドや車椅子対応トイレ等を購入しています。食料品などは、災害時購入できるよう業者と協定を締結しています。避難所においては、市職員、自主防災組織、避難者などで構成される避難所運営委員会を設置することにより、女性や高齢者の意見が反映できる体制づくりを行っています。今後も要援護者に配慮した避難所運営に心がけていきたいと思っております。

市町村名	女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください	
14	西尾市	避難所にはパーテーションなど、プライバシーの保護に配慮した資機材の配備も進めております。また、小学校区単位の防災訓練等で、実際の体育館を使用し、災害時要援護者に配慮した避難所の区分けを行うなど避難所運営訓練を行い、避難所における様々なニーズや問題点を予め把握して対処できるような体制づくりに努めております。
15	蒲郡市	大規模災害時の避難所となる小中学校の体育館は、概ねバリアフリーとなっております。災害時要援護者用に、プライバシーを保護するためのパーテーションを備蓄しています。
16	犬山市	施設面での対応は行っていませんが、各避難所の配置職員に女性1名を配置することで、女性からの相談や要望を受けやすいように配慮し、備蓄物資ではミルクや哺乳瓶、高齢者用のオムツの備蓄充実をすすめています。
17	常滑市	避難所の運営につきましては、常滑市地域防災計画に「女性の参画を推進するとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点等に配慮するものとする。特に女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置や生理用品、女性用下着の女性による配布、避難所における安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるものとする。」と定めてあります。女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所づくりに努めてまいります。
18	江南市	現在、全ての避難所に、簡易間仕切り及び車椅子の方にも対応した非常用トイレを整備しており、今後もそうした資機材を順次追加整備してまいります。さらに、施設の改修にあわせ、オストメイト対応型のトイレなど、あわせて整備してまいります。
19	小牧市	女性が避難所で生活をする際には、プライバシーの確保や着替え、授乳部屋など区画されたスペースを用意するなどの配慮が必要だと考えています。小牧市では災害に備え、体育館での避難生活におけるプライバシーを確保するため容易に組み立てができる間仕切りを240張、プライベートルームを20張備蓄しています。また、妊産婦や高齢者など特に配慮が必要な方が避難をする場所として市内3か所の福祉施設等を福祉避難所に指定しています。
20	稲沢市	稲沢市では、市内の小中学校を始め、勤労福祉会館、総合体育館など、避難所を40か所の指定をしています。昨年度から、保育士等による避難所解説訓練を実施しまして、問題点や改善点の洗い出しをしているところがございます。それを受け、乳幼児用オムツや粉ミルク、哺乳瓶やプライバシーを確保するための間仕切り腰掛けにもなるような段ボール製簡易ベッド、衛生面を考慮して水のいらぬシャンプーや体を拭くためのウェットタオル等の備蓄をしています。愛知文教女子短期大学と災害協定を締結しており、乳幼児対応をしていただけるような体制づくりをしております。また避難所生活が長期化した場合には、一般避難者と高齢者など災害時要援護者を分けられるよう老人福祉センター等9館を二次的避難所(福祉避難所)として開設するようにしております。いろいろなご意見を参考にさせていただき、必要なことから改善してまいります。避難所では、自助共助も大切と考えます。発災直後の避難所開設の際には、避難される方においても、飲料水、食料、毛布などの日用品のお持込等ご協力をお願いしています。
21	新城市	避難所にプライベート空間を作るため、間仕切り用ボードを備蓄(防災倉庫への集中備蓄、業者との協定による流通備蓄)しております。協定で提供していただく品目の中に、簡易ベッド(段ボールベッド)を含んでおり、高齢者や体の不自由な人へ優先的に提供したいと考えています。今後も女性や高齢者などへ配慮した対策の検討を続けていきたいと考えています。
22	東海市	女性や高齢者に配慮した避難所を設置するよう検討中です。

市町村名	女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
23	<p>大府市</p> <p>本市では、プライバシー保護の観点から、ダンボール製の間仕切りを各避難所に配備しております。また、高齢者など救護の必要な避難者に対しては、一般の避難者以上の負担を受けるので、必要があれば適切な場所(武道場など)や、施設へ転所できるよう努めていきたいと考えています。なお、本市の備蓄品につきましては、「生命を維持するために必要なもの」を原則に備蓄しておりますので、常備薬や予備のメガネなど、必要不可欠なものは個人や家庭により異なると思いますので、各ご家庭で備蓄していただきたいと存じます。</p>
24	<p>知多市</p> <p>たたみの部屋などの優先利用など、女性(特に妊産婦)や高齢者への配慮を考えています。</p>
25	<p>知立市</p> <p>避難所では間仕切りを使用し、授乳室や更衣室などを設置し、プライバシーに配慮するとともに乳児の泣き声や高齢者などへの対応として、別の部屋を用意するなど個別に対応していきたい。</p>
26	<p>尾張旭市</p> <p>本市では、避難所における必要な備蓄など過去の災害の教訓や社会状況の変化から、女性に限らず、乳幼児や高齢者の方が必要とされる物資(肌着セット、生理用品、紙おむつ、粉ミルク、哺乳ビン、雑炊など)の備蓄を行っております。また、授乳、着替えなどプライバシーが確保できる間仕切りの備蓄もし、設置の訓練も行っております。さらには、市内大手スーパー等と食糧、生活必需品等を優先的に供給していただくよう協定も結んでおり、可能な限り、多種多様な物資の提供を協力していただくようになっております。</p>
27	<p>高浜市</p> <p>避難所における妊産婦や高齢者などのプライバシーの確保に向けて、間仕切りパーテーションの整備を進めています。また、体育館以外の教室を配慮が必要な方が使用するなどの配慮に努めるよう検討をしています。</p>
28	<p>岩倉市</p> <p>妊産婦や高齢者を受け入れる福祉避難所は、災害救助法に基づく救助においては、災害時要援護者に対して特別な配慮をする避難所として位置づけられており、特別な配慮として介助員等の配置や、生活上の支援をするための資機材の整備等一定の条件を満たさなければならないとなっております。現在、指定している避難所の改善であります。適宜必要な措置を講じ、また、災害時に妊産婦や高齢者等を受入れ可能な民間社会福祉施設等と協議し、対応してまいりたいと考えております。</p>
29	<p>豊明市</p> <p>市防災計画では、災害時の一時避難所として、市内各小中学校及び県立高校を指定しています。また、避難所として、小中学校施設等(体育館)、県立高校施設を転用利用して確保、指定されています。また、準備が整いし、市立保育園などが災害時要援護者優先避難所として指定されています。妊産婦については、災害傷病者と同様に要援護者避難所を利用していただく考えをもっています。また、避難所運営が長期化した場合、女性や個人のプライバシーを守る設備が必要であることから、簡易間仕切りやトイレ設備の備蓄を行っているところです。</p>
30	<p>日進市</p> <p>屋根のついた間仕切りなどを配備し、更衣室にも利用できプライベート確保できるように配慮しています。また防寒などに配慮した敷きマットを配備しています。</p>
31	<p>田原市</p> <p>避難所における間仕切りなどによるプライバシー保護や女性・高齢者用トイレなどの充実を図っていきます。</p>
32	<p>愛西市</p> <p>大規模な災害の発生直後からの対応は困難かもしれませんが、特別な配慮を必要とする高齢者や障がい者のための避難施設として、平成24年に市内31カ所を「福祉避難所」として指定しました。発生後、民間協力施設の受入の可否の判断なども踏まえて開設し、必要に応じて移動していただくこととなります。また、妊産婦については、一般避難所の中で健常者とは区別してスペースを確保し対応することとなります。</p>
33	<p>清須市</p> <p>本市では、防災対策に女性の意見を反映させられるよう、防災の現場における女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立に取り組んでいるところです。避難所運営にあっても、ご要望の視点が反映させられると考えています。</p>
34	<p>北名古屋市</p> <p>妊産婦や高齢者の避難所生活スペースを確保するため各避難所に間仕切り段ボールなどを備蓄しているが、更なる拡充に努め便利に図っていきます。</p>

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
35	弥富市	現在、避難所の整備を行っております。避難所が整備された時点で、妊産婦・高齢者に配慮した避難所の検討を行います。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	施設の改修に併せ、改善できるところから改善していきたい。
38	長久手市	更衣や授乳でも使用可能な高さの間仕切りを備蓄しているほか、市の防災倉庫においては生理用品や粉ミルク、子ども用・大人用紙おむつなどを備蓄しています。
39	東郷町	そうした方々に配慮した避難所となるよう努めます。
40	豊山町	災害時に避難所となるプライバシー配慮のため、間仕切りを順次備蓄しているが、ダンボールの間仕切りを製造している会社と協定を締結し、優先して調達できるようにしています。なお、福祉避難所として総合福祉センターしいの木を指定しています。
41	大口町	福祉避難所として、4施設と協定を結んでいます。妊産婦や高齢者に特化した避難所については考えておりません。
42	扶桑町	扶桑町の避難所は学習など併用施設、小学校及び中学校の体育館や保育園などを避難所として指定しております。避難所として使用する場合には間仕切りを行うなどして女性や高齢者にも配慮した避難所運営に心がけて参ります。
43	大治町	福祉避難所の指定とその充実を図っていく。
44	蟹江町	平成24年度から災害時要援護者の防災資機材を避難所に配備いたします。
45	飛島村	避難所建設計画中であり、要援護者に配慮した部屋の設置を検討している。
46	阿久比町	地震発生後による避難所での暮らしについては、妊産婦や高齢者は、非常に不安であると思います。本町としましては、個人のプライバシーを守るため、段ボールによる間仕切りをし、夜間照明としまして、今年度照明付発電機の購入をいたします。保健師を配置し健康チェックをし、少しでも不安を取り除く事を心がけています。
47	東浦町	妊産婦及び高齢者等の災害時要援護者が、必要な生活支援が受けられ、安心して生活できる体制を整備した福祉避難所の選定に努めてまいります。
48	南知多町	財政面での問題、平常時の使い勝手などを考慮のうえ、今後検討します。
49	美浜町	・避難所に指定しているのは主として小中学校であり、平常時の学校教育に影響を及ぼすような改修工事等は現在予定していません。 ・女性の着替えや授乳等、プライバシー確保を可能とする間仕切り装備の整備を検討したいと考えています。
50	武豊町	避難所用資材としてプライベートルーム(授乳・着替え用等で使用できる)・障がい者対応の仮設トイレを備蓄しております。少量ではありますが、大人用のオムツなどの備蓄をしております。今後も、災害弱者へ配慮した避難所の整備を検討していきます。
51	幸田町	小学校の備蓄倉庫には、更衣室や授乳室として利用できるファミリールーム(間仕切り)を配備しています。なお、時間が経過してから避難してくる高齢者のために、予めスペースを確保できるように努めます。
52	設楽町	努力します。
53	東栄町	防災担当と今後協議していきます。
54	豊根村	保健センターを福祉避難所として指定されています。